

藍住町 議会だより

第85号

平成28年5月25日



バラ園

3月定例会

議会の新構成	P. 2～3
平成28年度一般会計・特別会計当初予算	P. 5
一般質問 ～町政のここが聞きたい～	P. 7～12
常任委員会 主な質疑	P. 14～15
わたしの一言・議会のうごき	P. 16

発行●藍住町議会 編集●議会だより編集委員会 徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127 FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>

議会の新構成

任期満了に伴う町議会議員選挙が2月14日に行われ、新たな議員16人が選ばれました。任期は平成28年2月29日から平成32年2月28日までの4年間です。

改選後、初の臨時議会が2月29日に招集され、議会の構成が決まりました。

第40代議長 森 志郎氏

第38代副議長 森 彪氏

【議長 森 志郎氏の略歴】

平成4年2月初当選。7期目。

第35代議長、第29代副議長、建設産業常任委員会委員長、厚生常任委員会委員長、特別委員会の委員長などを歴任。

【副議長 森 彪氏の略歴】

昭和55年2月初当選。7期目。

文教常任委員会委員長、総務常任委員会委員長、特別委員会の委員長などを歴任。

議長就任のごあいさつ

議会議長 森 志郎



議長 森 志郎



副議長 森 彪

2月14日に執行された任期満了による町議会議員選挙において、新たに議員が選出されました。地方自治の進展のため、その職責を十分果たし得るように一層研鑽に努め、町民の負託に応えてまいりたいと存じます。

2月29日の議会臨時会において、正副議長、委員会構成等が決定し、第40代議長に就任させていただくことになりました。誠に光栄に存じますとともに、その責任の重大さを痛感いたしておる次第でございます。

4月14日から断続的に続く熊本地震は、甚大な被害をもたらしました。この地震によりお亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました皆様からのお見舞い申し上げます。一日も早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、国・地方ともに財政状況は依然として厳しい状況にあり、本町においても同様に厳しい財政状況の中ではありませんが、防災対策をはじめ、少子高齢化への対応、教育・文化の向上、福祉の充実、生活環境の整備など、多くの課題に取り組んでいかなければなりません。

議会の円滑な運営はもとより、藍住町発展と住民福祉の向上を目指し、職責を全うするとともに、積極的な議会の情報公開に努め、開かれた議会、常に改革を推進する議会を目指して取り組んでまいりますので、なお一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさついたします。

常任委員会

〈総務文教常任委員会〉

委員長	永濱 茂樹
副委員長	矢部 幸一
委員	林 茂
委員	徳元 敏行
委員	西川 良夫
委員	森 彪

〈建設産業常任委員会〉

委員長	平石 賢治
副委員長	鳥海 典昭
委員	喜田 修
委員	古川 義夫
委員	佐野 慶一

〈厚生常任委員会〉

委員長	奥村 晴明
副委員長	安藝 広志
委員	小川 幸英
委員	西岡 恵子
委員	森 志郎

特別委員会

〈(仮称)藍住町文化ホール・公共施設複合化事業特別委員会〉

委員長	奥村 晴明
副委員長	平石 賢治
委員	小川 幸英
委員	林 茂
委員	安藝 広志
委員	鳥海 典昭
委員	徳元 敏行
委員	佐野 慶一
委員	森 彪

〈防災対策特別委員会〉

委員長	永濱 茂樹
副委員長	鳥海 典昭
委員	古川 義夫
委員	小川 幸英
委員	安藝 広志
委員	矢部 幸一
委員	西川 良夫
委員	平石 賢治
委員	奥村 晴明

〈議会だより編集委員会〉

委員長 徳元 敏行

副委員長 西岡 恵子

委員 林 茂

委員 鳥海 典昭

委員 奥村 晴明

議会運営委員会

委員長 佐野 慶一

副委員長 徳元 敏行

委員 林 茂

委員 平石 賢治

委員 永濱 茂樹

委員 奥村 晴明

一部事務組合等
議会議員

〈板野東部消防組合議会〉

西川 良夫
平石 賢治

〈板野西部青少年補導
センター組合議会〉

森 志郎

森 彪

〈徳島県後期高齢者医
療広域連合議会〉

森 彪

監査委員

〈議員の中から選出さ
れる監査委員〉

佐野 慶一
(敬称略)



常任委員会の顔ぶれ

総務文教常任委員会



委員長 永濱 茂樹



副委員長 矢部 幸一



委員 林 茂



委員 徳元 敏行



委員 西川 良夫



委員 森 彪

建設産業常任委員会



委員長 平石 賢治



副委員長 鳥海 典昭



委員 喜田 修



委員 古川 義夫



委員 佐野 慶一

厚生常任委員会



委員長 奥村 晴明



副委員長 安藝 広志



委員 小川 幸英



委員 西岡 恵子



委員 森 志郎

3月議会定例会が3月7日から23日までの17日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。

石川町長は平成28年度の所信表明を行いました。詳細については、広報あいずみ4月号に掲載しています。

一般質問では6人の議員が登壇し、町政について質問しました。

3月定例会

～町長提案～

- 平成27年度藍住町一般会計補正予算 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）補正予算 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（介護保険事業）補正予算 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（介護サービス事業）補正予算 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（後期高齢者医療事業）補正予算 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（藍寿苑介護サービス事業）補正予算 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（下水道事業）補正予算 原案可決
- 平成27年度藍住町特別会計（水道事業）補正予算 原案可決
- 平成28年度藍住町一般会計予算 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）予算 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計（介護保険事業）予算 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計（介護サービス事業）予算 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計（後期高齢者医療事業）予算 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計（下水道事業）予算 原案可決
- 平成28年度藍住町特別会計（水道事業）予算 原案可決
- 固定資産評価審査委員会条例の一部改正 原案可決
- 職員の給与に関する条例の一部改正 原案可決
- 職員等の旅費に関する条例等の一部改正 原案可決
- 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 原案可決
- 藍住町手数料徴収条例の一部改正 原案可決
- 藍住町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正 原案可決
- 藍住町防災行政無線の設置及び管理に関する条例の一部改正 原案可決
- 藍住町特別会計条例の一部改正 原案可決
- 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 原案可決
- 藍住町行政不服審査会条例の制定 原案可決
- 藍住町行政不服審査担当職員の任用に関する条例の制定 原案可決
- 藍寿苑財政調整基金条例の廃止 原案可決
- 町道の認定 原案可決
- 藍住町基本構想の策定 原案可決
- 指定管理者の指定（児童館等） 原案可決
- 指定管理者の指定（藍住町歴史観「藍の館」） 原案可決

～議員提案～

- 議員派遣の件 原案可決
- 藍住町農業委員会委員の推薦 鳥海典昭
- （仮称）藍住町文化ホール・公共施設複合化建築事業の抜本的な見直しを求める決議案 否 決

～報 告～

- 平成28年度藍住町土地開発公社の事業計画

定例会案内

次の定例会は6月です。
次号は8月に発行します。

本会議を傍聴しませんか

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。
議会や町政に関する御意見をお寄せください。

投稿規定

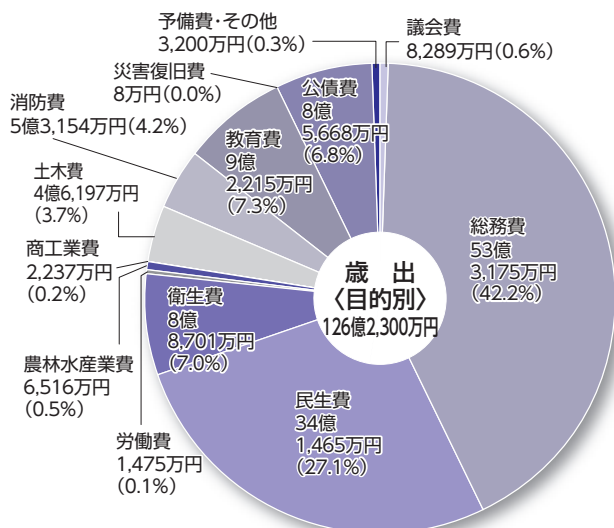
- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

平成28年度一般会計当初予算

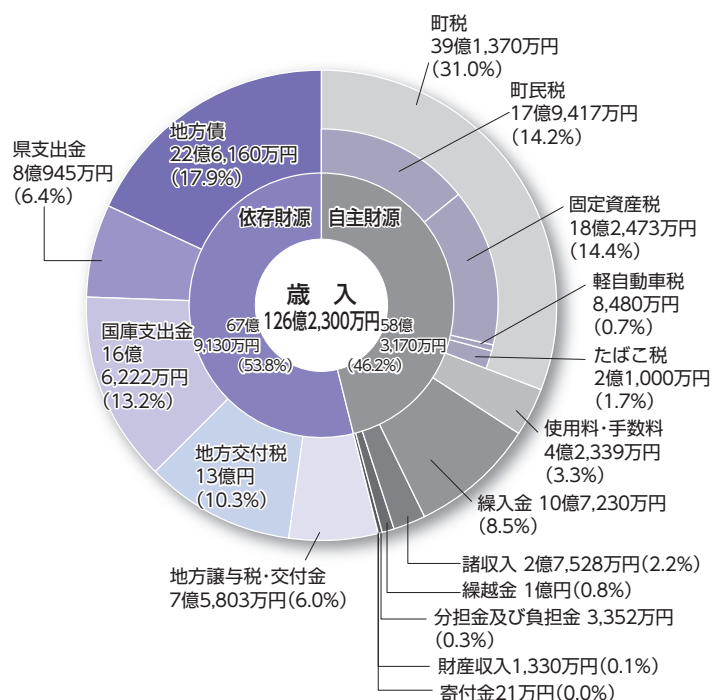
一般会計126億2,300円を可決

前年度当初予算対比34.3%

歳出



歳入



一般会計の主な事業・新事業

(1万円未満切り捨て)

- 電子計算機管理費 8,892万円
(戸籍システムの維持保守、セキュリティ対策など)
- 危機管理対策費 4,044万円
- 藍住町文化ホール・公共施設複合化事業 30億6,536万円
- 後期高齢者医療費(療養給付費負担金) 2億2,720万円
- 臨時福祉給付金事業 1億3,720万円
- 障害者総合支援費 6億6,665万円
- 児童手当事業費 7億0,304万円
- 保育所運営業務委託料 3億9,670万円
- 病児病後児保育、地域子育て支援センター事業 2,940万円
- 江ノ口児童館耐震工事、住吉児童クラブ新設工事 5,888万円
- 子どもはぐくみ医療扶助費 1億6,896万円
- 西クリーンステーション管理費 4億3,086万円
- 中央クリーンステーション管理費 1億5,800万円
- 中小企業支援事業 1,022万円
- 鳴門藍住大橋橋梁修繕工事 2,000万円
- 常備消防費負担金 4億8,182万円
- 小学校総務費 1億5,203万円
(空調機設置の電気設備工事費、学校のパソコン更新に伴う電子計算機の借上料など)
- 勝瑞城館跡整備事業 3,522万円

平成28年度一般会計・特別会計当初予算

会 計 名		予 算 額	前年度当初 予算対比
一 般 会 計		126億2,300万円	34.3%
特 別 会 計	国民健康保険事業	37億7,000万円	1.1%
	介護保険事業	23億4,800万円	1.4%
	介護サービス事業	1,200万円	17.6%
	後期高齢者医療事業	2億8,760万円	8.1%
	下水道事業	4億4,600万円	△3.0%
	水道事業	収益的支出 4億5,332万円	0.2%
		資本的支出 2億9,549万円	20.6%

平成27年度一般会計補正予算

歳入歳出
それぞれ

5 億6,200万円増額

予算
総額

108億8,600万円

～主な補正の内容（1万円未満切り捨て）～

総務費

- ◆ 退職手当特別負担金 6,970万円
- ◆ 情報セキュリティ強化対策事業 7,500万円

消防費

- ◆ 常備消防費 △9,398万円

民生費

- ◆ 介護ロボット導入促進補助事業 300万円
- ◆ 障害者総合支援費 9,400万円
- ◆ 保育所運営委託料 693万円

諸支出金

- ◆ 社会福祉施設整備事業積立金 3億5,000万円

平成27年度特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額	会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業	3,800万円	37億6,800万円	藍寿苑介護サービス事業	1億1,500万円	3億5,000万円
介護保険事業	145万円	24億3,000万円	下水道事業	△1,800万円	4億4,200万円
介護サービス事業	250万円	1,270万円	水道事業(収益的支出)	300万円	4億5,550万円
後期高齢者医療事業	△380万円	2億6,220万円			

全国町村議会議長会表彰

3月1日、徳島県町村議会議長会第67回定期総会において、自治功労者表彰式が行われ、町村議会議員として11年以上在職の功労者として、次の方々が表彰されました。（敬称略）

江西博文・小川幸英・小堀克夫・林 茂

陳

情

2件の陳情があり、議員に配布しました。

▼軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談のできる窓口などの設置を求める陳情

陳情者 軽度外傷性脳損傷仲間の会

代表 藤本 久美子

▼「森林・林業政策の推進を求める意見書（案）」採択に向けた陳情

陳情者 全国林野関連労働組合四国地方本部徳島分会

執行委員長 谷脇 日出正

請

願

1件の請願があり、継続審査となりました。

●南小グラウンド周辺の大樹を「保存樹木」に指定する請願書

請願者 福永 三七男 氏
紹介議員 西川 良夫 議員

(仮称)藍住町文化ホール 公共施設複合化事業について

様々な意見を聞き、効率的な複合施設を目指す



シルバー人材センターの事務所



小川 幸英 議員

問 ①昨年度2月に意見交換会を開催しているがこの意図は何だったのか。その時に出た意見に対しての対応は。

答 ①様々な意見から、多種多様に利用できる部屋を配置し、ホールの機能は一流の音楽等に触れてもらえらることを掲げている。

②配慮した専用の部屋を設ける必要があり、ほかの施設を考慮してもらいたい。

③外部テラスをステージとして利用できると考えている。

藍住町総合計画について

政策目標を設定し、
魅力あるまちづくりを目指す

子供子育て支援の充実について

医療費・給食費の無料化は困難

その他の質問

◎国民健康保険について

問 平成37年の人口目標を3万6千人としているが目標達成の具体策はどのような取り組みでいくか。若者の雇用不安解消は人口増の大前提と思うが町は関係する事業所へ正社員化の働き掛けをすべき。

答 いくつかのシミュレーションを行い、5つの基本理念の下に、18の政策目標を設定し、出生率の向上や、住みたいと思ってもらえる魅力あるまちづくりが、目標人口を達成するものと考えている。

また、企業担当者との面談等時に、非正規雇用の方々の正社員化についてお願いをしているが、今後もし引き続き働きかけを行う。

問 ①現在、中学校卒業までの医療費無料化を実施しているが一月に600円の窓口負担がある。この負担も無料にしてはどうか。また、高校卒業まで医療費無料化を拡大してはどうか。

答 ①費用の無料化は、困難である。また、高校生までの拡大については、既に町単独で約3千万円の費用を負担し、子供の医療費支援の充実を図っているところであり、現段階では考えていない。

②現在のところ予定はない。

③幼稚園30万2千円、小学校60万3千2百円、中学校56万4千5百円。

④約8580万円が必要となり、非常に大きな金額となるため、実施については困難である。

子供の貧困対策について

支援していくのが責務

問 子供の貧困については、今や社会問題。6人に1人が貧困の中にいます。教育委員会としてどのような教育支援をしているか、学力低下を防ぐための取組、子供の心の安定への取組、経済的支援としての奨学金制度について、さらに、親の経済格差が子供の学力格差を生み出しているとの分析があります。現状と取組について尋ねます。

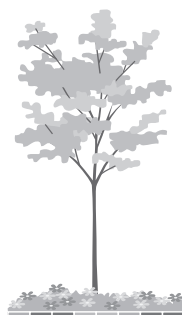
答 夏休み、冬休みを短縮し、授業の量的増大に努めている。また、子供の心の安定については、担任、関係教職員などと家庭が密に連絡をとり、その子の不安感が解消される具体策について協議をし、相互理解、相互協力に努めている。

平成27年度の奨学金利用者は高校生1名、大学生2名。今後も授業の質的向上や家庭学習の習慣化に努め、学力向上を図りたい。

省エネ対策について

様々な課題や補助事業の動向を見ながら検討

問 過去の答弁において、県内の動向や新しいシステムの開発状況を踏まえ利用促進を検討するとあり、また、第5次藍住町総合計画において、自然エネルギーの有効活用に関する取組を推進するとあります。現状と今後の取組、さらに(仮称)文化ホールのエネルギー施



答 福祉センター周辺の太陽光発電外灯の設置、町民体育館における太陽光発電の設置などを行っている。

また、文化ホールのエネルギー施策の効果について試算をしたが、初期投資費用に見合うだけの効果が得られないとの判断から見送ることとした。

策について尋ねます。



西岡 恵子 議員

子育て支援について

施設環境の整備を行い、受入れ態勢の確保に努めている

問 子育て政策について国も「若い家族を取り巻く環境を、もっと温かく配慮に満ちたものにしなければならぬ」、待機児童ゼロに向けて万全を期していきたい」と早急に取り組む姿勢をみせていますが、本町の待機児童の現状とその解消について尋ねます。

答 平成28年度の待機児童は、1歳児7人、2歳児11人、3歳児12人。認可保育所を増やす方向で対応策を講じている。

また、学童保育については、年次的に施設環境の整備を行い、受入れ態勢の確保に努めており、6月には奥野放課後児童クラブの増築工事が完成予定。また、7月には第2奥野放課後児童クラブを発足させ、新たに4年生から6年生の募集を開始する。



新しい放課後児童クラブ（奥野児童館）

その他の質問

◎地方創生について

自主防災組織の結成状況について

登録組織数93組織、現在15の組織が活動



古川 義夫 議員

問 今年は東日本大震災から5年、昭和22年12月21日に発生した昭和南海地震から70年になり、徳島県では今後30年以内に約70%の確率で、南海トラフ大地震が起これと言われております。そうした大災害の初動対策として、住民の自助・共助がもつとも重要であることが、再確認されたところであります。

こうしたことから、自主防災組織の結成や育成の必要性が求められます。行政として、更に住民の防災意識の啓発のため、積極的な取組を要望します。

答 自助・共助の重要性が増してきており、地域での防災力を高めていくことが求められている。地域における自主防災組織の重要性からも防災意識の啓発に取

り組むとともに、組織運営の支援にも積極的に取組、自主防災組織の活性化、また、組織率向上につなげていきたいと考えている。

排水対策について

随時改良を行い、少しでも冠水や浸水する地域がなくなるよう考えている

問 近年の異常気象の状況下において、これまでは想定外の大雨と言われてきましたが、今日では大雨も想定内であると認識されているところでもあります。

昨年の12月にも断続的に強い雨が降り、町内各地で道路の冠水、露地野菜や、本県を代表する農産物である春ニンジンの広大な規模の圃場が浸水被害に遭いました。

そうしたことから、農家の皆さんから、排水路の改善対策を早急に考えてほしいとの訴えがあります。行政として、今後の対策をお聞きします。

答 抜本的な対策には莫大な費用を必要とすることから、実現には困難な状況にあるが、局所的な改良を加えることで、排水能力の向上を期待できる箇所もある。

る。排水路の流れる方向を変更することによって、流下能力の向上ができると思われる箇所について、改良工事を実施し、効果を検証したいと考えている。

そのような箇所について随時改良を行い、できるだけ早く下流の河川に放流できるように、少しでも冠水や浸水する地域がなくなるよう考えている。



ニンジンの収穫

パークゴルフ場の採算はとれているのか

採算面だけを重視するのではなく、健康増進を図っている



林 茂 議員

- 問** 健康増進のためにと1億8千万円もかけ河川敷に建設したが、運営状況は。
- ①パークゴルフ場へ町財政からの支出状況は。
- ②入場料だけで採算がとれない原因は町にあるのか。
- ③委託先の日本道路は、談合の疑いで役員が在宅起訴、国交省から指名停止処分を受けた。委託先をシルバー人材センターに変えることで仕事の確保につながるのではないか。
- 答** ①8年間で9695万円。
- ②採算面だけを重視するのではなく、住民の方の健康増進を考えている。
- ③災害時等、流木や漂流物の撤去作業の実績があり、シルバー人材センターへの委託は考えていない。



パークゴルフ場の様子

町財政は心配ないのか

計画性を持った事業の推進に努める

- 問** 町は文化ホールなど大型公共事業を推進しており、町民は町財政は心配ないのかと言っている。
- ①町発注10億円以上の財源内訳と起債の返済計画は。
- ②建物の維持管理費も財政を圧迫するのではないか。
- ③住民生活に必要な事業を後回しにしないこと。
- 答** ①事業費128億円、返済は20年から25年。
- ②生活環境整備、町の活性化のために必要な事業。
- ③財政状況を見極め、しっかりと計画性を持った事業の推進に努めたい。

小学校にエアコン設置は今年度中に

平成28年度に電気工事、平成29年度に空調機器の設置工事を実施

- 問** 街頭宣伝中、中学生が「エアコンが付いてよかった」、「弟が小学校へ行っている。早く付けてほしい」と言っていた。
- ①中学校にエアコン設置後、生徒や教師の反応は。
- ②小学校のエアコン設置工事は、2年度に分けることなく今年度中にすべきだ。
- ③小学校4校のエアコン設置工事費2億円程度が出せない理由は。一般会計の基金が43億円あるので基金から取り崩したらどうか。
- 答** ①学習意欲の向上に大きな効果が見られ、教師にとっても、授業が大変やりやすくなったと好評である。
- ②4小学校を同時に行いたいため、大きな事業費となり、財源にも配慮が必要であることから、2か年での完成を目指している。
- ③それぞれの目的に合わせて、基金の積立てをしており、今後、パソコン等の一斉の交換や、トイレの改修等、取り掛かなければならない大型予算を要する事業があるため難しい。

国土強靱化地域計画に向けた取組について

問題点や課題を整理しながら取り組む



西川 良夫 議員

問 国土強靱化地域計画は、今後どのような災害が起こっても被害の大きさを自体を小さくすることが期待できるとともに、計画策定後は国土強靱化に係る各種の事業がより効果的かつスムーズに進捗することが期待できる。ガイドラインでは強靱化による事項について地域防災計画はもとより地方公共団体における行政全般に関わる既存の総合的な計画よりも更に上位に位置づけられている。地域計画は、まちづくり政策において、住民の生命と財産を守る根幹を成すものであり早期の策定が求められている。



答 国土強靱化は土地利用の在り方や警察・消防機能、医療機能、交通・物流機能、エネルギー供給機能、情報通信機能、ライフライン機能、行政機能等様々な重要機能の在り方を町の関係部署にとどまらず、自治会や地域住民、商工会等の経済団体など、広範な関係者と連携・協力しながら進める必要がある。内容が多岐にわたり、すぐに取り組むことは難しいが、策定に向けての問題点や課題を整理し、先進事例等も参考にして、今後、取組を進めていきたい。

安心して子供が育てられる環境整備について

提供体制の確保を図り、新たに認可保育所を増やす方向で進めている



改修工事の様子（あいすみ保育園）

問 27年3月に公表した、子ども子育て支援事業計画は保育ニーズに需給ギャップが生じているため計画の見直しをすべきだ。待機児童問題は保育所を普段利用していない家庭でも、所用で外出しなければならぬ場合や、子供を預けて遊びに出掛けたいというニーズもある。このような実際の利用者のニーズを把握し、対応できる制度にすることで入所希望者は減少する。その他、小規模保育、家庭的保育等は都市部では整備が進み保育所と連携しながら運営されている。本町で

も積極的に推進してはどうか。
答 町では、認可保育所を増やしたり、既存の認可保育所の改修工事により、定員の拡大を図りながら提供体制の確保に努めてきたが、なお不足する事態である。現在、2か所の事業者から認可保育所の事業実施について申出を頂いており、事業内容の詳細について、ヒアリング等を行い、できるだけ早く開設できるように進めていきたいと考えている。

教育問題・新年度、 各校区通学路の安全と防犯対策

改善できるように努めている



永濱 茂樹 議員

問 3月上旬に町PTA連合会事務局と社会福祉協議会会長さんに安全、防犯対策についてお願いをし、また、各単P、先生、保護者、社協の各地区協の方にも通学路の危険箇所、防犯の危険箇所について、要望をしてくださいとお願いをしました。

北小学校、南小学校周辺通学路では歩道の舗装劣化で、でこぼこが激しく転んでけがや、足の裏が痛い等の話がある。町内の各通学路の状況把握をし、早急に舗装整備を。

防犯危険箇所では、人通りの少ない所、空き家と周辺の雑草地、薄暗い所に防犯灯がない。見通しの悪い所にカーブ



歩道の施工状況の様子（藍住南幼稚園北側）

ミラーの設置を講じていただきたい。また、不審者対策として、PTA各地区協、行政としても状況把握を。

答 舗装の劣化等への安全対策については、保護者や学校等からの情報、要望も踏まえて、関係課及び関係機関と連絡調整を図りながら、改善できるように努めている。また、不審者情報があった場合には、直ちに保護者の皆さんへメールでお知らせし、注意喚起を行っており、下校時刻には、教職員や見守り巡視員がその周辺を重点的に見回すようにしている。

南海トラフ巨大地震

町内で緊急車両の
通行し難い箇所は9か所

その他の質問

- ◎ 県道松茂吉野線、ミック衣料南側歩道に一時停止信号を
- ◎ 防犯・青色回転灯装着車存続について
- ◎ 笠木ファミリーマート西側を3車線に拡幅を
- ◎ 災害時に備え人命救助策、新設道路計画を

問 豪雨災害等の緊急時に備えて道路の拡幅を講じていただきたい。

拡幅は交通渋滞緩和対策、安全対策として町の活性化になる。

行政は消防署との連携の下、道路状況の実態把握を。

答 災害時、緊急車両の通行し難い箇所は、町内で9か所。いずれの箇所とも、道幅の狭い箇所であり、用地の協力が得られるよう、交渉を行いながらできるところから拡幅を行いたいと考えている。

東海・東南海地震等の災害時に備え、 公共施設等の耐震診断について

該当する施設があれば、耐震対策を進めていく

問 災害時の弱者救助対策として独居老人、高齢者、障がい者への避難誘導説明会を行っていないところから順次対策を講じていただきたい。

答 1人でも多くの方に参加していただけるよう、各種団体や地域の方々とも連携を図りながら、できるだけ身近な場所での実施ができるよう努める。

また、各地域や団体等から防災講座の要望があれば、夜間、休日にかかわらず、講座を実施しており、利用いただきたい。



議員研修報告

4月14日から15日に市町村議会議員特別セミナーが国際文化アカデミー（滋賀県）で開催され、本町議会からは2名が参加した。

議会議員 徳元 敏行
議会議員 矢部 幸一

4月14日朝、高速バスで京都駅へ。1200年前、桓武天皇が縦横に魔除けを組み込んだ四神相應の理想の都、平安京。怨霊渦巻く魍魎魍魎が闊歩し百鬼夜行する魔界の都、京都から琵琶湖の畔大津京の研修センターに入寮。

養父市長より、養父市における国家戦略特区の取組と地方創生について講演があり、中山間地、人口減少過疎地域の休耕地の再生、生産性向上、人口減少の歯止め、地域活性化計画、特区の規制緩和により、土地権利の集積化促進等で休耕地の再生が進み、生産性、経済性の向上に成功し企業が参入。労働力流入により地域活性化に成功した事例、市長が将来の姿を見据えた強いリーダーシップの下、地域協力者グループ

の活動、地域外企業の参加により成功した事例などが紹介された。
また、神山プロジェクトでは、NPO法人グリーンバレー理事長より、創造的過疎から考える地方創生と題して、過疎化の現状を受け入れ、数ではなく内容を改善する必要がある。外部から若者やクリエイティブ人材を誘致することによって、人口構成の健全化を図る。ICTインフラ等を活用し、多様な生き方を実現できるビジネスの場としての価値を高める①サテライトオフィス、②ワークインレジデンス（町にとって必要になる働き手や起業者の誘致）、③神山塾（後継人材の育成事業）の開設、ワークインレジデンスによる商店街の再生へと発展し、成果を上げており、現

在、消費者庁の移転先として検討されている。

翌15日は、教育から始まる地方創生と題して、学校の廃校が地域の衰退を招き、人口減少が加速。就業人口減、伝統文化が途絶えるなど、学校がなくなることは地域衰退の第一歩。高校の魅力化が地域の活性化となり、地域との協働による高校改革を考え、廃校予定の高校を地域と一体になって、魅力ある高校に再生し、地域外、全国から入学希望者が集まる公立塾の開設が重要ポイント。

地方創生の課題と地域力創造のポイントとして、人材育成、自立心の再生、住民自治の確立、地域経済の循環構造の構築、若者が力を発揮できる風土づくり、教育の在り方が地方創生の成否を握る。今回人口減少地域の事例ですが、人口調査は地区、集落単位とし、年齢分布、増減、20年後の姿を想定する。地域のコミニケーション、自治の確立、中学校教育の魅力化、町に必要な人材育成が必要と思われる。



徳島県町村議会議員研修会に参加

3月29日、石井町「中央公民館」において開催され、本町議会から14名の議員が参加しました。全国町村議会議長会議事務局部参与横田優氏より「議会運営の基本」と題して、また、新潟県立大学国際地域学科准教授田口一博氏より「議員として活躍するためには」と題した講演が行われました。



徳島県女性議員視察調査に参加

3月31日、吉野川ハイウェイオアシスにおいて開催され、西岡恵子議員が参加しました。



～西岡恵子議員の処分取消請求訴訟～ 地裁判決を受け議会が控訴

町内に生活の実態がないため被選挙権を有しないとする議会の議決により、前任期において失職した西岡恵子議員が、議会の決定の取り消しを求めた訴訟の判決が平成28年4月22日徳島地方裁判所であり、議会の議決を取り消す決定が下されました。

本町議会はこの判決を不服として、高松高等裁判所に控訴しています。

常任委員会 主な質疑

3月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。
各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。
主な質疑・意見については次のとおりです。

厚生常任委員会

平成28年度

一般会計補正予算

緊急通報装置補助金

問 対象者と使用料は。
答 おおむね60歳以上の独居世帯、高齢者のみの世帯、身体障がい者の方が対象。

使用料については、ドアの開け閉めに反応するタイプが月額3596円、反応しないタイプが月額3067円で、介護保険の区分により5%から15%の負担割合がある。

子ども・子育て会議

問 委員報酬6万7千円の内訳は。
答 会長は7千円、委員は6千円。

5か年計画を立てる際には2年ほど審議をしたが、それ以外の年は経過を見るということ、年1回を想定している。

【意見】計画が確かに実行できているか検証するた

め、会議は年2回ぐらいの開催が必要ではないか。

児童館総務費

問 前年度と比べて6950万円増加した要因は。

答 指導員の給与と改定により児童館施設管理委託料が1060万9千円、江ノ口児童館耐震改修工事費に1880万円、住吉児童館児童クラブ工事費に3100万円、住吉児童館と勝瑞児童館の改修工事費に各200万円が増加になったため。

予防費

問 237万円増えた要因は。

答 各種健診委託料が増えたのが大きな要因である。

肺炎球菌の接種

問 昨年、接種した人数は。
答 平成27年度は1601名。平成28年度の当初予算は500人程度を見込んでいる。



空き家等実態調査

業務委託料

問 平成28年度から始まる調査委託事業か。

答 平成27年度に空き家対策特別措置法が施行され、防災・防犯等いろいろな面で空き家をこれからどうしていくかということが、全国的に対応が求められている。今後、計画を立てるに当たり、空き家の実態を把握するために、計画の基礎となる資料を委託して策定する。

不燃物処理委託料

問 廃プラスチックの収集日を減らした理由は。

答 従来からリサイクル品目を増やし続けて、それぞれに収集日があり、廃プラスチックの収集を減らした日は、別のごみを収集している。現在の人員と収集車両では、これ以上の指定日を増やすことは困難である。

【意見】再度、検討してほしい。



平成28年度

国民健康保険事業当初予算

滞納繰越分

問 差押えはしているのか。

答 まず、納税相談をしていただき、納付計画を立ててもらおうというのが一番で、どうしても納税相談に応じただけでない、または納付がない場合は、財産調査をして財産があれば差押えをしている。

問 減免制度はあるのか。

答 天災や雇い止め、失業、病気等により収入がなくなった場合は、申請により減免制度の対象となる。

高額療養費

問 年々医療費が増加しているが、実態調査はしているのか、また、その要因は1件当たりの医療費増によるものか。

答 国保連合会で療養給付費の審査をした上で支給しており、町独自でもレセプト点検を行い適正な給付になっているか、二重のチェックを行っている。また、1件当たりの医療費については、詳しい分析はできていないが、医療が高度化

してきた影響もあるのでないかと考えている。

出産育児一時金

問 42万円の35名分という説明であったが、月に約3人が出産予定なのか。

答 国保世帯の方が対象で、平成26年度は39名であった。

待機児童解消

問 待機児童解消に向けての取組は。

答 現在の待機児童は30人。あいずみ保育園の改修工事を行っており、6月に完成予定。完成すれば、15人程度は入所できると予想しているが、保育士の確保が必要である。

今後、民間2社から認可保育所の建設計画があると聞いている。

問 保育所が完成したら待機児童はなくなるのか。

答 入所希望の伸び率が収まれば待機児童は解消されるが、今、保育所に預けて働きたいという方が急増しており、見通すことは難しい。



建設産業常任委員会

平成28年度

一般会計当初予算

〔農地防災事業〕

問 県営地盤沈下対策事業費の事業完了年度は。

答 富吉土地改良区の工事は平成28年度で完了する。藍園、川口及び中島土地改良区は全線完了しており、井隈土地改良区については、事業を実施する予定はない。

〔河川改良整備費〕

問 前川改修工事負担金3900万円、円の積算根拠と事業内容は。

答 前須東1号橋の拡幅工事で、現在2mしかないため、橋として認定されていない。これを4mに拡幅するため、予算計上している。現況の復旧部分は県負担となるが、拡幅部



町道の路線認定箇所を現場視察する
建設産業常任委員

総務文教常任委員会

平成27年度

一般会計補正予算

〔予防対策費〕

問 予防接種の健康被害はあったのか。

答 藍住町での対象者は1件。

〔総合管理費〕

問 退職者の内訳は。

答 定年退職が7名、早期退職が7名、普通退職が5名の19名。

〔介護ロボット導入促進事業補助金〕

問 介護ロボット導入とは何か。

答 この事業は国の政策の中に新たに設けられた事業で、介護支援などに使用する。

1事業所最大で300万円を補助するもので、財源については100%国の補助である。現在、町内の16事業所が申請をしている。

〔保育所委託料〕

問 増額した理由は。

名。また、ストレスチェックは事業所に義務付けられているが町の職員ではできないため、業者に委託をしている。

昨年、職員のメンタルサポートの相談窓口として、外部の機関に委託をし、職員が相談できる体制をとっている。

〔地籍調査事業費〕

問 進捗状況は。

答 現在、奥野地区で猪熊・矢上前の事業は終わり、和田・東中須についての事業は進行中である。地籍調査が終わったところから公園を変えていっており、奥野地区の一部については4月から地籍図の閲覧交付ができる。

〔顧問弁護士委託料〕

問 どのような時に使うのか。

答 住宅の明渡しや応訴等の裁判があった場合のために、400万円を予算計上している。委託料としては月額5万円。

〔過誤納還付金〕

問 過誤納還付金は多いのか。

答 法人町民税の場合は、中間納付で予定納付した額が業績により払戻しとなる場合がある。

〔納税貯蓄組合〕

問 納税貯蓄組合の活動内容は。

答 納税組合自体の活動も減ってきており、現在、納税組合での活動は行っていない。

〔滞納整理機構負担金〕

問 滞納整理機構負担金の

病休の職員は、二

病休の職員はいるのか。

メンタルヘルス
対策支援

病休の職員は、二

病休の職員は、二

内訳は。

〔答〕 毎年30件移管しており、28年度は件数割り226万8千円、徴収実績

割156万9千円、均等割10万円の合計393万7千円。

〔デジタル教材〕

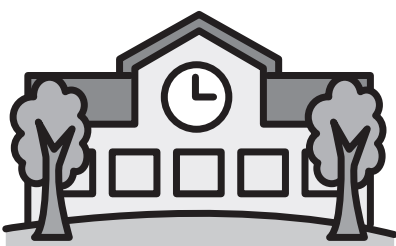
問 どのように使うのか。

〔答〕 電子黒板に教材を映し出したり、DVDの利用等、教育指導に使用する教材である。

〔西幼稚園修繕〕

問 西幼稚園のテラスの修繕はするのか。

〔答〕 経常的な修繕費は予算計上しており、その中でできるだけ対応し不足の場合は補正等を考えていきたい。



40代を迎えたある日、以前から薄々学びたいと考えていた介護のことを、本格的に学ぶチャンスを得た。なんと、大学で学生としてである。最初はこの年で大学生なんて、と気恥ずかしい思いであった。

高校を卒業したばかりの現役の大学生と机を並べ、自分とそう年齢の変わらない先生に教わる。今まで出会ったことのない人たちに囲まれ楽しい日々が始まる、そう思っていた。

いざ、学習が始まると想像していた大学生活とは余りに懸け離れていた。そう、学ぶのは介護である。重いテキストを抱え、ジャージに着替え、レポート提出の嵐。頭と体をフルに使わないとついていけない。特に、実技は頭で理解して、文章にしても、体が動かなくては意味がない。毎日毎日、授業が終わっても自主練習を居残って行った。シーツの交換、車椅子、つえ、おむつ、入浴、食事。一つ教わる度にテストがある。友人とペアを組み、介助者、利用者に入れ替わり練習を繰り返した。

利用者の身体機能、心身状態、ニーズ、医学的・科学的根拠。利用者、介護者にとって安全、安楽な方法とは何か。ベッドから車椅子へ移る一つ一つの動作に全て「その根拠は何ですか」と説明ができるように求められた。理想の介護とは何か頭を抱える日々であった。

現在、無事資格を得て、病院で働く私には、理想の介護ができているだろうか。

私はあなたのお役に立てていますか。



議会のうごき

2月

14日 藍住町議会議員一般選挙
19日 当選議員初顔合わせ会

板野郡町議会議長会定例会

(徳島市)

29日 第1回議会臨時会

議会運営委員会

3月

1日 徳島県町村議会議長会定期総会(徳島市)

7日 3月議会定例会開会

議会運営委員会

8日 厚生常任委員会

9日 建設産業常任委員会

10日 総務文教常任委員会

11日 中学校卒業式

16日 3月議会定例会一般質問

17日 小学校卒業式

18日 藍寿苑落成式

23日 3月議会定例会閉会

議会全員協議会

24日 教職員離任式

28日 板野西部青少年補導センター組合議会定例会(板野町)

板野東部消防組合議会定例会

(北島町)

4月

29日 徳島県町村議会議員研修会(石井町)

31日 徳島県女性議員視察調査(吉野川ハイウェイオアシス)

1日 教職員着任式

11日 小・中学校入学式

14・15日

市町村議会議員特別セミナー(滋賀県)

26日 板野郡町議会議長会定例会(藍住町)

28日 議会運営委員会

議会だより編集委員会

議会全員協議会

よいニンジンの日(4/12)に、にんじん塩飴を無料配布



編集後記

議会改選後、第1回目の編集委員会です。議会の活動が分かりやすい誌面になるように、親しみやすく読みやすい誌面を目標にして文字の型、大きさ、数字の処理方法、記事の構成に関していろいろな意見が出されました。議会だよりが多くの読者に親しまれ愛読されるよう、研修を重ねて魅力ある誌面づくりに努力します。多くの方のご愛読をお願い申し上げます。

(徳元 敏行)



議会だより編集委員会

委員長 徳元 敏行
副委員長 西岡 恵子
委員 林 茂
委員 鳥海 典昭
委員 奥村 晴明